

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	新宮市立神倉小学校	山本眞也
学校所在地		
〒647 - 0015 和歌山県新宮市千穂 1 丁目 2 番 4 0 号 Tel 0735 (22) 8454 fax 0735 (22) 8458 e-mail kamikura_s@za.ztv.ne.jp		
担当者名	役職名・担当教科	
細川 志帆	教諭・第 5 学年主任	
<b>〔学校の概要〕</b> 本校は、平成 24 年 4 月 1 日丹鶴小学校と千穂小学校が統合されて、神倉小学校として開校した。 校区は、新宮市の西側、千穂ヶ峰に沿った地域と、旧市内を南北に縦断する国道 42 号線の熊野大橋から広角までの道路沿い両側の市街地及び国道 168 号線沿いの地域を含んで、合併前の旧市内の 2 分の 1 エリアがあろうかと思うほど広範囲である。この地域内には、市役所、県東牟婁振興局、裁判所、警察署、県立新宮高等学校等の主要官公署がある。 学校の立地は、千穂ヶ峰のふもとに位置し、世界遺産に登録された神倉神社、熊野速玉大社には含まれた閑静な地域にあり、恵まれた環境の中で子ども達は生活している。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5 年生 88 名	職員 6 名	本校、世界遺産センター、熊野古道
実践研究テーマ		
世界遺産について知るとともに、豊かな心を育てる。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べよう。	
<b>〔キーワード〕</b> 世界遺産学習 情報活用能力		
<b>〔単元目標〕</b> (1) 世界遺産について考えることができる。 (2) 実際に熊野古道を歩いたり、和歌山県世界遺産センターの入門講座を受講したりすることで、地域に素晴らしい世界遺産があることを実感することができる。 (3) 世界遺産を自分達で守っていこうとする心情を育てるとともに、自分達にできることについて考えることができる。		
<b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b> <b>全体 15 時間</b> （「世界遺産について調べよう」10 時間）		
<b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b> 和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産とは何かを学習する。</li> <li>日本に登録されている世界遺産を知る。</li> <li>世界に登録されている世界遺産を知る。</li> </ul>	日本の世界遺産を知り，世界遺産について興味をもてるようにする。	発言・ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産マスターに熊野古道について話を聞きながら，熊野古道を歩く。</li> <li>世界遺産入門プログラムを受ける。</li> </ul>	地域の自然と触れ合いをもたせる。紀伊山地の霊場と参詣道についての関心が深まるようにする。	発言・行動観察
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>入門講座を受講し，世界遺産について興味をもったことについて調べ，まとめる。</li> </ul>	各自の興味関心にそった内容について調べ，世界遺産への理解を深めさせる。	ワークシート
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>紀伊山地の霊場と参詣道とは何かを学習する。</li> </ul>	熊野古道や熊野について学習し，本地域の世界遺産について興味をもてるようにする。	発言・ワークシート
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産について調べ，まとめる。</li> </ul>	自分の関心のある世界遺産について調べ，グループごとに調べられるようにする。インターネットや図書を利用できるようにする。	ワークシート・作文
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した情報を整理し，構成を考えてまとめる。</li> <li>学習発表会で発表する。</li> </ul>	自分達の思いや願いが分かるように表現の仕方を工夫させる。自分達が地域の歴史や文化を，守り伝えていく必要があることに気付かせる。	ワークシート・発表
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>(成果) 参詣道を歩いたり入門講座を受講したりするなどの現地学習を行い，地域の世界遺産について関心を深めることができた。また，自分の関心のある場所を調べ，発表することにより，まとめる力を高めることができた。</p> <p>(課題) 地域の世界遺産や文化財に対して興味や関心をもつことができたが，学習したことに対して自分の考えをもち，それを表現するためのプレゼンテーション能力等をつけていく必要がある。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の世界遺産に目を向け，守ろうとする人々の願いを感じたり自分の郷土を誇りに思ったりするなど，郷土愛が深まった。</li> <li>保全活動に関心をもち，環境への意識が高まった。また，自分達も遺産を大切に受け継いでいこうという気持ちが芽生えた。</li> <li>調べ学習やグループ学習の力が高まった。</li> </ul>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが学習を進めていく上で，世界遺産に興味をもち，自分たちのふるさとを誇らしく思えるような世界遺産学習を進めることが大切である。</li> <li>本地域における世界遺産の範囲は広く，児童の関心も様々であるため，資料や教材研究の工夫が必要となる。</li> </ul>			

## 様式 2

平成28年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

世界遺産には三つの種類があって、文化遺産・自然遺産・複合遺産という名前だと初めて知った。そして、本宮大社の周りの道が紀伊山地の霊場と参詣道と呼ばれていることも知った。さらに、世界遺産に登録する意義が日本の文化を世界にむけて発信すると共に我が国の文化をつちかうことだと分かった。これらのことを知って、大人の人達が自然を守り続け、後世に残していくのだなと思った。日本の世界遺産がなくなってしまうように、私達も受け継いでいかななくてはならないと思った。

私は、日本に20件もの世界遺産があると知って、びっくりしました。世界には1052件もあると知って、さらにびっくりしました。なぜなら、私はずっと昔からあって「最古」がつくぐらい古い建物などが世界遺産になると思っていたからです。そして、一度世界遺産になったらずっとそのままだと思っていたけど、危機遺産など危険にさらされている世界遺産があると知りました。神倉山や熊野古道はずっと世界遺産でありつづけてほしいと、改めて思いました。

世界遺産について世界遺産センターの人に教えてもらい分かったことがたくさんあった。紀伊山地の霊場と参詣道は、人と自然が協力しつくりあげた文化遺産である。参詣道の自然はアートのようにくねくねとして人の思い通りにいかない道が続く。それでも、人々が協力し、世界遺産に登録された時のままの美しい姿を残していることがすばらしいと思った。また、日本は木の文化であり、本当という事をぜったい証明できないといわれていたけど、日本人はそれでもあきらめず努力して証明したこともすばらしいと思った。

世界遺産入門講座を受講して、世界遺産には文化遺産、自然遺産、複合遺産があることを知った。世界遺産からはずされたものも二つあることにはおどろいた。紀伊山地は自然遺産だと思ったけど、文化遺産と知ってびっくりした。世界遺産を守るには、平和であることが大切だと知った。世界遺産になった物は、これからも残し続けいろんな人に知ってもらうために、大切にしなければいけないと思った。

ぼくは、世界遺産には種類がないと思っていたけど、三つもあると知っておどろいた。一つ目は文化遺産。二つ目は、自然遺産。三つ目は複合遺産という名前だ。世界遺産として熊野古道を守るため古道から約50メートルの範囲をバッファゾーンに設定していると知った。ガイドさんなど熊野古道に携わる人々が、50メートル以内だけでなくも守っていくために努力していた。ぼくたちも、熊野古道を一生守っていかなくてはならないと思った。

テレビで世界遺産が決まるとその地域の人々がすごく喜んでいるのを見て、なぜそんなに喜んでいるのかと不思議に思っていた。しかし、仲さんの話を聞いて、世界遺産のすごさや何回ものテストを受けてやっと世界遺産に登録されると知った。ぼくは、改めて世界遺産を見直そう思った。そして、実際に熊野古道を歩いてみて自然の空気や世界遺産らしい景色が、神倉山と似ていると思った。そして、自分の身近な所にもすばらしい世界遺産があることに気づいた。自分に子どもができれば世界遺産の素晴らしさを話したいと思った。

